

チューリップ

1. 基本情報

ユリ科の球根植物です。

品種にもよりますが、4月から5月上旬頃に開花します。

非常に多くの品種があり、色や花弁の形状も様々です。

一重咲き、八重咲き、ユリ咲き、フリンジ咲き、パーロット咲き

2. 植え付け

10月頃が植え付けの適期です。

地植えでもプランターでもどちらでも栽培できます。

プランターの場合は、しっかり深さのあるもの(25～30cm)を選びましょう。あまり浅すぎると、根がしっかり張れず、うまく育ちません。土はよく耕しておきます。地植えの場合は、植え付けと一緒にJAファーム野菜とお花の肥料を入れましょう。

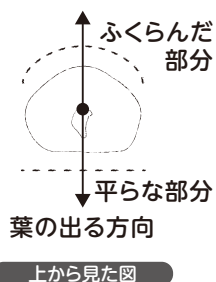
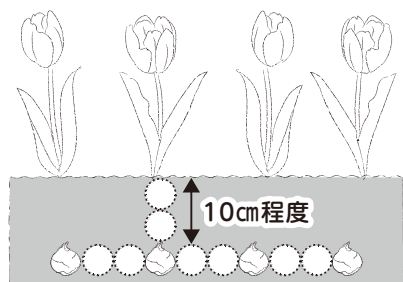
プランターの場合は、培養土を使います。JAファームお花の土14Lがおすすめです。

植える深さは、10cmくらいの深さにしましょう。

複数植える場合は、球根同士間隔を空けて植えましょう。球根2個分くらいが目安です。

チューリップは毎年同じ場所に植える(連作)とうまく育たないので、できれば植える場所を変えるか、土を変えましょう。

球根は尖った方が上を向くように植え付けます。球根の植える向き(膨らんだ部分の向き)を揃えると、葉の向きも揃い、見た目がきれいに整います。



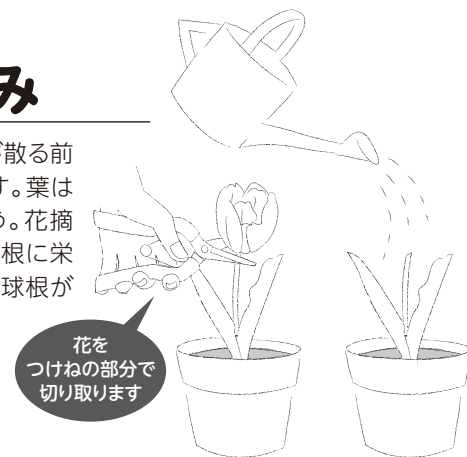
3. 置き場・管理方法

チューリップは成長に水をたくさん必要とします。土が乾燥しないよう、土の表面が乾き始めたら、たっぷり水をあげましょう。よく日の当たる場所で管理します。

アブラムシがつく場合があります。病気の原因にもなりますので、早めに退治しましょう。

4. 花摘み

開花後は、花びらが散る前に花を摘み取ります。葉はすべて残しましょう。花摘みをすることで、球根に栄養がいき、充実した球根が取れます。



5. 掘り上げ・保管

地上部が枯れたら掘り上げるタイミングです。土をよく落とし、ネットにいれ、風通しの良い日陰で保管します。分球しているものは手で分けてから保管します。小さすぎるものは植えてもうまく育たない場合があります。また、葉や花にまだら模様が見られた球根は、ウイルス病なので廃棄します。

